

これまでとはフェーズの違う 22 夏闘スタート 一時金の水準を戻して生活回復へ

WING

日本航空ユニオン宣伝ニュース
No 514(13-09)
2022年 05月 24日

Tel:03-5756-8690 URL <http://www.jlu.co.jp> e-mail honbu@jlu.co.jp

春闘後半とも言える 22 夏闘の交渉が 5 月 18 日から始まっています。21 年度決算と同時に 22 年度 EBIT800 億円の見通しも発表しました。コロナで耐え忍んできたこれまでとは違う経営の強い意思を、夏闘の回答で示してほしいものです。

人財 本部長 EBIT800 億円の目標は容易ではないけれど 達成して社員みんな幸せになろうと思います

5 月 17 日に行われた 22 夏闘第 1 回団交でのやり取りの一部を紹介します



21 決算は対前年比 EBIT で約 1600 億円の改善になった。本当に社員の皆さんは一人ひとり安全運航をしっかり支えてくださった。日々の業務に懸命に取り組んで、今何ができるかを考えていく中で、こういう結果につながったというふうに考えている。

改めて感謝を申し上げたい。

今年は EBIT3200 億円回復するという V 字計画、この達成は容易ではない。とはいえ今年は、2 年連続で赤字を出した後の勝負の一年であるし、また皆さんと一緒に「上期の黒字化」これを何とか達成したい。達成して社員みんな幸せになろうと思います。

黒字化の計画を見た職場からは「黒字なら最低でも年間 4 カ月は出るはず。マスタープランに夏は 2.0 カ月を含めていなければおかしい。」との声が出されている。

発表されたローリングプランには、社員への思いが表れていない。まずは足元の社員の生活が安定しなければ、計画の達成もあり得ない！



ローリングプランを達成するために
何が一番必要なのか、本部長に聞きたい。

JLU



必要なことは沢山ある。新しい価値を生み出していかなければならないし、利益を生み出せる体制を作らなければならない。そこには、やはり人がベースとなる。社員のエンゲージメント、モチベーションと言い換えても良いが、これを高めていく事を重要視している。この会社に勤めて良かったと思える会社の発展が社員の生活を含めて、成長につながる。

反転攻勢に向けてエンゲージメントを高めていく施策が必要だと考えている

その他、団交内容の詳細は JLU ニュース 814, 815 号をご覧ください。
6 月 17 日の山場まで 22 夏闘の交渉は続きます。
エンゲージメントが高まる回答は何か？皆さんの声が会社を動かします。

2022 夏闘も オンラインで 意見を集めます

JLU ニュースで伝わりにくい部分やオフレコ話が聞けるかも？

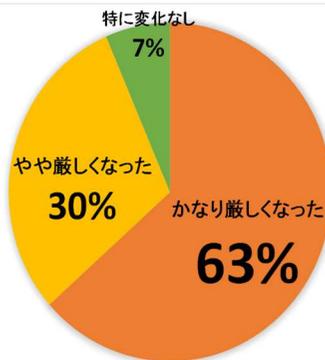
みなさんの声を次の交渉に役立てます。支店からの参加もお待ちしております！

5/25(水) 26(木) 17:00~19:00
入退出はご自由に

※Zoom 詳細はお問い合わせください。ホームページにも公開します。

対前年比で生活が厳しくなったのは約 93%

2021年度は2020年度と比べて家計にどのような変化がありましたか。



4月から実施している夏闘アンケートに216件(昨年116件)の回答があり、93%が「厳しくなった」と答えています。昨年の夏闘では「ゆとりがなくなった」という聞き方をしていましたが、「ゆとりどころではない」という声があったため設問を変更しました。「良くなった」と答えた人はゼロ。2020年の夏から一時金が下がり続けているため、生活が改善する要素は全くないということです。モノの値段も上がっていて、一時金が回復しなければ家計が厳しくなるばかりです。

一時金以外のこだわりたい要求は何ですか？

22夏闘は22春闘要求を継続しています。夏闘でこだわりたい要求をアンケートで聞きました。手当に関わるこだわりが強く表れました。

各種手当の増設・新設・・・39%
勤務や権利・・・・・・・・・・21%
転勤・単身赴任・・・・・・・・12%

モチベーションを上げるために、必要な手当、施策を提案しています

インストラクター(教官)手当

係長手当

土日祝手当

車両・TOOL等の増配備/更新

暖房手当

アルコール管理手当

とにかく一時金を！

別居特認STと一般STは区別してほしい

高速代全額支給

家族手当、住宅手当

支店出張時の拘束時間が長い移動時間を勤務扱いに

子どものST支給対象年齢の引き上げ

厳しい生活実態 一時金に対する期待

- 一時金がなくなって生活が成り立たない。
- 年収ダウンが甚だしい。一時金は2ヶ月が最低ライン。
- とにかくお金がなくて切羽詰まっている。子供は進学し、家のローンも払わないといけない。私達の生活は本当に困窮している。
- 2年連続大幅年収ダウンで400万円の赤字です。これを補填するには特別支援金や一時金の後払いが必須です。
- コロナ渦、一時金が大幅減の為、預金を切り崩ししないと生活出来なくなってきた、我慢の限界です、夏期一時金には期待します。
- やはりなんといっても一時金が無いのが苦しい。状況はわかるが、生活に直に響いてきている。そろそろ限界。
- 係数に徹底的にこだわります。係数を減らすだけで何もしない会社の一方で、生活苦はもはや手当てのしようがないところまで来ていますが、会社としての覚悟を係数で示して欲しい。
- 一時金が出ない状態でもう会社からも労金からもめいいっぱい借りている、これ以上借金は組めない。
- 一時金はなんとかしてほしい。とにかく、世間の値上げに対応できなくなってきている。
- 一時金が2年以上まともに出なく、子供の教育資金が無くなり借金しないとイケない。会社の業績が戻ったら、過去分の手当てを頂きたい。
- 一時金がまともに出ない事に限界を超えている。貯金が無くなる。モチベーションが保てない。

22夏闘 JAL グループ
全社員アンケート

5月末まで継続、6/1に「回答アンケート①」に更新



表面バナーにあるアドレス、HPの「お問い合わせ」も利用できます